

令和5年度
事業計画

社会福祉法人 緑会

緑 会 理 念

仁 愛	家族に身になって病める人の心を大切にする
信 頼	信頼されるに足る知識と技術を持つよう努力する
貢 献	医療・保健・福祉を通じて地域社会に貢献する

令和5年度テーマ

『利用者の能力を引出し、支える』

基 本 方 針

利用者や家族が、より良く安心して暮らせるために、私たち専門職が寄り添い支えることが大切になります。利用者本人の活動能力（基本能力）を「見える化（数値化）」し、個々に対応したサービスを提供する事で、活動能力の維持改善が図られより良い暮らしにつながります。その為に職員一人一人が資質を向上させ、きめ細やかな技術やサービスを提供し、その人に合わせた支援ができるよう取り組みます。

重 点 目 標

- 1 「筋力を落とさない」
 - ・基本能力を測定、見える化し、訓練や運動に取り組むことで、日常生活の改善を図る
 - ・低栄養の改選と口腔、嚥下機能のリハビリを行う
- 2 認知症・障がいを持つ方への対応
 - ・ユマニチュード（その人らしさ）によるケアの推進
 - ・認知症や障がいがあっても、穏やかに暮らせるよう支える
- 3 利用者支援のための職員の資質向上と連携を強化する
 - ・職員の資質向上のための情報収集や研修で学んだことを共有し、支援に活用する
 - ・利用者一人一人に合った支援のために職員が連携し、対応できるようにする

実 施 策

1 「筋力を落とさない」ためのサービスの提供

高齢者が要介護状態になる要因は、サルコペニア（加齢による筋力低下症）から、ロコモティブシンドローム（移動機能の低下）となり、フレイル（身体的・精神的・社会的衰弱）状態になることが考えられる。

その予防のためには、運動はもちろん、栄養状態も確認しながら、能力を測定し、評価することで、次のステップを定めて、本人や家族、支援する職員が同じ方向に向き課題を実践できるよう働きかけることが大切である。

2 認知症・障がいを持つ方への対応

高齢の方は加齢に伴う身体の変化だけでなく、認知症による日常生活に支障が出てくることもある。また障がいを持つことでも同じように支障が出てくるが、家族や周りの支えだけでは対応が難しい状況において、専門職の関りやサービスを提供することで、日常生活を継続することができるようになる。

認知症や障がいがある方の思いを受け止め、寄り添い、支えられるよう知識を学び、活かして、その人らしさを尊重し、支援できるよう検討しサービスを提供する。

3 利用者支援のための職員の資質向上と連携強化

職員一人ひとりが利用者を観察し、持っている能力を活かせるように、その人に合ったサービス提供を考え共有することで、利用者支援の充実につながる。

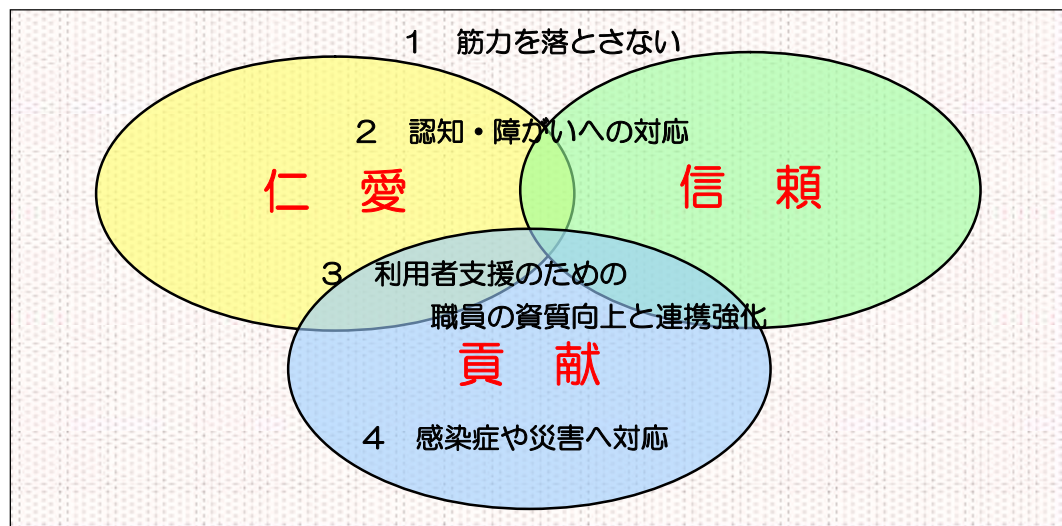
そのために、専門職としての知識や研修などで学んだことを実際に現場いで活かすよう職員間で連携しながら統一的に支援することが重要となる。

日頃から、職員間でのコミュニケーションを大切にしながら、お互いの気づきを共有し、補いながら全体の資質向上につなげることが大切となる。

4 感染症や災害への対応力強化

いつ起こるか分からない感染症や災害は、法人だけの問題ではなく、地域社会において大きな影響を与えます。それに対応するためには、日頃からの対策を関係機関と連携しながら、計画的に訓練や研修を行ったり、地域の人たちとつながりを持ったり、顔の見える関係づくりを構築していく事が大切です。BCP（事業継続計画）に基づき、どんな時でも安全・安心に生活が継続できるよう、準備する必要がある。

事業実施図（令和5年度）



1. 各種会議・委員会一覧

【 えんやまグループ 】

名 称	開催日時	内 容
法人会議	毎週木曜日 8:00～9:00	グループ内で経営や運営上検討すべき課題の検討や制度改正、雇用状況等の共通理解を深める
グループ運営会議	毎月最終火曜日 13:30～15:00	理事長以下グループ内各部署長・課長級の職員が参加し、事業運営や課題について検討する。
施設連携会議	毎月第4木曜日 16:00～17:00	病院・老健・特養・G.H等ベッドを有するグループ内施設の担当者による情報共有と処遇の検討

【 緑 会 】

名 称	開催日時	内 容
緑会運営会議	毎月最終月曜日 12:45～13:45	法人全体の経営・運営に関すること
衛生委員会	毎月最終月曜日 12:30～12:45	職員の衛生・安全・健康の確保・職場環境に関すること
千寿苑業務会議	第1・3週月曜日 12:30～13:00	施設全般の運営・管理等に関すること施設全般における業務全般・苦情に関すること
入居検討委員会	毎月最終金曜日 14:00～15:00	施設入所決定等に関すること
安全・感染対策委員会	毎月第2火曜日 12:30～13:00	リスクマネジメントの手法を用い、事故（転倒・誤嚥・誤薬・異食・その他の事故）の防止対策と事故が発生した場合、その分析や対応、再発防止のための対策を検討、実施することや、感染症及び食中毒の予防並びに蔓延の防止対策や環境衛生等の改善についての検討、実施
合同栄養委員会	偶数月第2金曜日 12:30～13:00	施設で提供する食生活全般に関すること
地域活動委員会	偶数月第4金曜日 12:30～13:00	各施設単位、法人単位、そしてえんやまグループ全体の地域活動を担当し、企画の立案や提案、地域からの依頼等の調整を行う
防災委員会	偶数月第3水曜日 12:30～13:00	建物全体の防災計画、月例点検、避難訓練の計画と実施、災害時の対策に関
褥瘡対策委員会	奇数月第2金曜日 12:30～13:00	施設全般における褥瘡予防・対応に関すること
身体拘束廃止委員会	奇数月第3水曜日 12:30～13:00	施設内における身体拘束の廃止及び虐待防止のための取り組みの検討、実施に関すること

令和5年度 社会福祉法人緑会 各委員会 研修・活動計画

	安全対策委員会	合同栄養委員会	感染等災害対策委員会	高齢者虐待防止・ 身体拘束廃止委員会	地域貢献活動委員会	褥瘡対策委員会
4月	ので、特に研修等は行わない 毎月各部署でのヒヤリハットや事故の対応について協議している	摂食・嚥下機能				
5月		嗜好調査				
6月		嗜好調査結果報告				
7月			避難訓練		千寿苑周辺清掃	
8月		食事時のポジショニング				
9月				勉強会	一本松公園草刈り	
10月		食事介助				勉強会
11月		嗜好調査	避難訓練		朝日小通学路清掃	
12月		嗜好調査結果報告				
1月			B C P 訓練			
2月		次年度研修会検討				勉強会
3月					勉強会	
その他					ウエス・古切手寄付	

2. 各事業所別事業計画・行事等予定・研修予定

介護老人福祉施設 千寿苑

介 護 老 人 福 祉 施 設

短 期 入 所 生 活 介 護

介 護 予 防 短 期 入 所 生 活 介 護

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I. 筋力を落とさない	1. 対象者の ADL を評価し、到達目標を設定して目標に向けて運動する (食事、移乗、トイレ動作、歩行など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者を決めて目標を立て、目標達成に向けて対象者にあった運動をする ・ 能力を継続して測定し、BMI やアルブミン値などの栄養状態も含めた結果をグラフ化して掲示する ※4月、10月、3月に能力測定 ・ カンファレンス時に専門職で話し合い、今後の関わりについて検討する(結果をケアプランに同封して家族に送付する) 	
II. 利用者にしみのある生活を送っていただく	1. 個別で関わる時間を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月に利用者の意向を確認し、ユマニチュードの4つの柱を意識して関わる(外出支援、畑、作品作りなど) ・ 個々の支援に活用するために、ツールを使用し、専門職で話し合う 	
III. 職員の資質向上と連携強化	1. 研修会に参加して知識を深め、実際に実践できるか理解度を確認する 2. 思いやりをもった行動がとれるように職場の教養を活用して取り組み、チーム力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践形式の苑内研修を行った後は、研修内容を理解できているかどうかを実際に行ってもらい、意見を伝える(心肺蘇生、感染症、身体拘束など) ・ 外部研修会に参加した場合は、学んだ内容を他職員も対象に研修会を行う ・ 眠りスキャン導入目的を共有し、活用方法を理解する ・ 利用者の情報を共有する(5分間ミーティング、申し送りノート) ・ 職場の教養を音読し、職員間のコミュニケーションを円滑に図れるようなグループワーク学習を取り入れる ・ 接遇や身だしなみの基準に沿って半年毎に他者が点検し、改善が必要な場合は説明する 	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
IV. 感染症や災害への対応力強化	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症が発生した時に、迷わず対応できるように練習をする 2. 日頃の点検や訓練を通して防災を意識する機会を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃から感染症に応じた物品を準備しておき、シミュレーション練習をする(コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス) ・ 定期点検(コンセント、懐中電灯の電池など) ※ 感染等災害対策委員会と連携して行う ・ 毎月伝言ダイヤルとシェイクアウトの練習を行う 	

令和5年度年間行事等事業計画書

部署名： _____ 入所

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	花見ドライブ		
5月	・つつじドライブ ・苑内菜園苗植え		
6月	和倉お祭り会館へ		
7月	夏まつり		
8月	・里海里山ミュージアムへ ・採れた野菜でバーベキュー		
9月	敬老会		
10月	せんじゅえん食堂		
11月	紅葉ドライブ		
12月	バー寿		
1月	苑内初詣		
2月	節分（豆まき）		
3月	紙芝居（完成）		

令和5年度

施設内研修予定表

部署

入所

開催日	研修内容	場所	参加職員
4月	気持ちに沿った対応を行うために (認知症の方への対応：ひもときシートを使って)	2・3階デイルーム	入所職員
5月	高齢者の筋力低下の特徴と運動方法 誤嚥～心配蘇生①	〃	〃
6月	施設での事故の種類と発生時の対応	〃	〃
7月	柔軟なコミュニケーション力について (グループワーク)	〃	〃
8月	災害時の初期対応 (火事・地震)	〃	〃
9月	身体拘束と虐待① 誤嚥～心肺蘇生②	〃	〃
10月	感染症の種類と特徴 身体拘束と虐待② (事例をもとに)	〃	〃
11月	感染症：発生時のシュミレーション練習	〃 2・3階フロア	〃
12月	誤嚥～心肺蘇生③	2・3階デイルーム	〃
1月	看取り・精神ケア	〃	〃
2月	職員の倫理・プライバシー	〃	〃
3月	口腔ケアの目的と効果	〃	〃

令和5年度

施設外研修参加予定表

部署 _____ 入所

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	主任介護支援専門員研修	石川県	未定	ケアマネ：達 一樹
〃	認知症介護実践者研修	〃	〃	介護職：村尾 静香 介護職：古川 鮎佳
〃	認知症介護実践リーダー研修	〃	〃	介護職：野口 麻美
〃	感染について	〃	〃	感染災害等対策委員
〃	身体拘束・虐待について	〃	〃	高齢者虐待防止・身体拘束 廃止委員
〃	権利擁護	石川県 介護支援専門員協会	〃	ケアマネ：達 一樹
〃	食事の不良姿勢に有効なポジショニング	高齢者施設看護師会	〃	機能訓練：松田 陽司
〃	感染対策	能登中部保健所	〃	看護師：高野 幸恵
〃	食事と嚥下について		〃	看護師：大村 直美

デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

通 所 介 護

七尾市介護予防・日常生活総合事業

令和5年度テーマ：『利用者の能力を引出し、支える』

部署：デイサービスセンターせんじゅ・なでしこ

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
1. 筋力を落とさない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本能力を測定、見える化し、訓練や運動に取り組む事で日常生活の改善を図る ・ 栄養課との情報共有 ・ 口腔・嚥下機能のリハビリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 握力測定・バーセルインデックス測定を行い、本人様・CM にフィードバックする <ul style="list-style-type: none"> 離床可能者: 起き上がり、移乗動作の変化の有無 通常歩行者: 速度や歩き方の変化等の有無 ・ 機能訓練・体操・ゆっくり座るなどの運動を行う ・ 食事量、咽の有無、トロミ使用者等の記録、周知 ・ 食事摂取量低下時、体重の変化2kgの増減等があれば見える化して栄養課に報告、周知 ・ 口腔・嚥下体操の実施 	
2. 認知症、障害を持つ方への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユマニチュードによるケアの推進 ・ 認知症や障害があっても穏やかに暮らせるように支える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見る・話す・触れる・立つの4つを継続 ・ 状態変化等がある方に「ひもときシート」を実施しケアの統一。認知症の理解を深め、生活習慣や趣味・役割を尊重し、全員が対応できるようにする 	
3. 利用者支援のための職員の資質向上と連携を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修に参加し、職員の資質向上を図り、学んだことを共有し、支援に活用する ・ 利用者ひとり一人に合った支援の為に職員が連携し、対応出来るようにする ・ 感染症や災害への対応が強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修・勉強会に参加、伝達、効果判定 ・ ミーティング時に疑問点、気づき等を話し合う ・ 事例検討を行い、成果を職員にフィードバック ・ 伝言ダイヤル、避難訓練の実施 ・ 感染症の勉強会の実施 	

令和5年度年間行事等事業計画書

部署名： せんじゅ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯		
5月	新緑ドライブ 母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯		
6月	あじさい湯	保育園児との交流会	
7月	初夏ドライブ 笹の葉湯	千寿苑夏祭り	
8月	せんじゅ夏祭り ひまわり湯		
9月	敬老会 りんどう湯	一本松奉仕作業	
10月	運動会 オリーブ湯	徳田祭り	
11月	紅葉ドライブ さざんか湯		
12月	忘年会 ゆず湯		
1月	初詣 松湯		
2月	節分のつどい 梅湯		
3月	ひなまつりのつどい 早春ドライブ 菜の花湯		

令和5年度年間行事等事業計画書

部署名： なでしこ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4 月	お花見ドライブ 桜湯		
5 月	母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯		
6 月	生け花 あじさい湯	老人会との交流会 (元氣かいね白馬)	
7 月	初夏ドライブ 笹の葉湯	千寿苑夏祭り	
8 月	なでしこ夏祭り ひまわり湯		
9 月	敬老会 りんどう湯	一本松奉仕作業	
10 月	あさひ保育園児との交流会 オリーブ湯	あさひ保育園児との交流 徳田祭り	
11 月	紅葉ドライブ さざんか湯	老人会との交流会 (グループデイ国分)	
12 月	忘年会 ゆず湯		
1 月	初詣 松湯		
2 月	バレンタインコンサート 梅湯		
3 月	ひな祭りの集い 菜の花湯		

令和5年度 施設内研修予定表

部署 通所介護（デイサービス）

開催日	研修内容	場所	参加職員
6月	ユマニチュードについて	デイルーム	全職員
8月	職業倫理とプライバシー保護について	デイルーム	全職員
10月	認知症について	デイルーム	全職員
12月	感染予防について	デイルーム	全職員
2月	身体拘束について	デイルーム	全職員

令和5年度

施設外研修参加予定表

部署

通所介護（デイサービス）

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
7月	薬の知識	介護労働安定センター		嶽 奈美子 岸 歩里
7月・11月	高齢者施設初任者研修	石川県社会福祉協議会		岡本 由佳
7月	アサーティブコミュニケーション	介護労働安定センター		政島 愛子
9月	ストレスマネジメント	介護労働安定センター		宮本 学 百谷 寛子
10月	認知症の方へのケア	介護労働安定センター		大橋 しのぶ
11月	高齢者施設リーダー研修	石川県社会福祉協議会		永松 香織 高山 弘美
11月	緊急時の介護と観察ポイント	介護労働安定センター		素波 久美 竹田 真紀
1月	身体拘束と介護事故リスク	介護労働安定センター		宮崎 千恵 高橋 和代
1月	介護福祉士実習指導者講習	介護福祉士会		戸潤 春奈
未定	人材育成	介護労働安定センター		大嶽 こずえ

介護老人福祉施設 千寿苑
デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

栄 養 課

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I. 筋力を落とさない	利用者様一人ひとりに合ったお食事を提供することで、必要栄養量を補給し、栄養状態を維持・改善する。 1. 栄養アセスメントの実施と情報共有 2. 摂食機能評価	(1) 多職種での食事観察強化。 (栄養マネジメント強化加算) (2) 千寿苑（入所） 対象者の身体状況を数値化（身長、体重推移、BMI、アルブミン値、活動レベル等）し、その方の目標に向けて多職種で関わる。 (3) デイサービス 2kg以上の体重減少または摂取量7割以下の方（その他低栄養状態のリスクがある方）の情報を共有し、必要な食事対応を実施。 (4) 「い〜とみる®」ソフトの導入。	
II. 認知症・障がいを持つ方への対応	楽しくおいしく食事していただき、QOLの向上につなげる。	(1) 年2回の嗜好調査を継続し、集計をもとに献立や食事内容を調整する。 (2) ご本人およびご家族の意向を確認。ニーズを取り入れる。 (3) 季節感のあるお食事の提供とイベント食の立案・実施。	
III. 利用者支援のための職員の資質向上と連携強化	食事作りを通して、利用者様の健康状態や機能を維持する。	(1) 前向きな言葉かけでコミュニケーションを図る。 (2) 研修会への参加。部署内研修（1回/3ヵ月）の実施。 (3) 可能な範囲で厨房スタッフも利用者様の摂取状況確認。 (4) 各施設、管理栄養士間の情報共有。	
IV. 感染症や災害への対応力強化	緊急時も安全に食事提供する。	(1) 備蓄食に関して、職員へ周知。 (2) 緊急時の食事提供マニュアルの見直し。	

令和5年度 施設外研修参加予定表

部署 栄養課

開催日	研修内容	場 所	参加職員
4～6月中	接遇マナー	栄養課	栄養課職員
7～9月中	手洗い・衛生管理について。 (大量調理施設衛生管理マニュアルの理解など)	〃	〃
10～12月	緊急時の対応	〃	〃
1～3月中	食形態について(嚥下食など)	〃	〃

令和5年度 施設外研修参加予定表

部署 栄養課

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	生涯学習研修会	石川県栄養士会	未定	管理栄養士
未定	管内栄養士研修会	能登中部保健センター	未定	管理栄養士
未定	石川県糖尿病療養指導士研修会	石川県糖尿病療養指導士研究会 他	未定	管理栄養士
未定	摂食嚥下に関する研修会	石川県栄養士会 他	未定	管理栄養士

グループホーム やくしの里

認知症対応型共同生活介護

介護予防指定認知症対応型共同生活介護

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>1. 筋力維持に努め、自分の足で歩行する</p>	<p>1. 筋力低下予防に努める (1) 毎日の昼食前の口腔体操にて嚥下機能の維持。 3日に一度のゴムバンド体操、スクワット実施 (2) 下肢筋力低下予防 足上げ運動(ハードル歩行) (3) 天気の良い日の坂道昇降散歩 (4) 年間を通しての畑仕事 (5) 歩行速度・握力測定</p>	<p>(1) (2) (3) 転倒リスクのある利用者を対象とし毎日行えるようにチェック表の記録実施 歩行状態についてミーティング時に情報共有する (4) 畑の年間スケジュール表作成 (5) 4月に基本能力測定行い、年4回の測定とグラフ化して掲示と家族への報告</p>	
<p>2. 認知症・障害を持つ人を受け止めその人らしさを尊重する</p>	<p>2. ユマニチュードの推進ケア (1) 利用者の持つ特性に働きかけ尊重に配慮したケアを行う (2) 1日1回は利用者と席につきコミュニケーションをとる (3) 日常生活を通して職員と共に行動する時間を持つ (4) 接遇・認知症の勉強会実施) (5) 記録の電子化</p>	<p>(1) ミーティング時に利用者一人一人の意見交換を行い情報共有と対応についての検討 (2) コミュニケーションを取る時間を持つ様に心掛け思いを引き出す。 (3) 職員と共にシーツ交換、自室の掃除、ごみ出しを行う (4) 認知症はシリーズ化してミーティング時に実施 (5) マニュアル作成</p>	
<p>3. 感染症や災害への対応強化</p>	<p>(1) 感染予防の継続 ・ 入居者：毎日の体温と酸素濃度測定 ・ 職員：出勤時、体温、酸素濃度測定、うがい、マスクの着用、職員玄関前での手指消毒の徹底 ・ 感染対策の勉強会 (2) 災害に備える事で介護サービスを継続する ・ BCP 作成</p>	<p>・ 入居者：毎朝測定の実施 ・ 職員：出勤時に実施、職員間で声掛け行う ・ 感染対策勉強会(4・12月) (1) 断水時(7月予定) (2) 停電時(9月予定) (3) 物品・備蓄品の確認(年1回)</p>	

令和5年度年間行事等事業計画書

部署名： やくしの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学・その他
4月	花見		S11.4.1 細川朝子様 87歳
5月	でか山見学 避難訓練 菖蒲湯	大泊朝市	S11.5.12 松田米子様 87歳
6月	ドライブ ワックス掛け	大泊朝市	S12.6.21 大野久直様 86歳
7月	七夕まつり 災害訓練・断水	大泊朝市	
8月	花火 流しそうめん	大泊朝市	S10.8.10 細川良男様 88歳
9月	お彼岸おはぎ作り	大泊朝市	
10月	避難訓練	大泊朝市	
11月	紅葉ドライブ	大泊朝市	
12月	クリスマス会 ゆず湯 おせち作り・年越しそば		
1月	おせち提供 正月遊び 七草粥（6日夜勤者）		T13.1.8 竹藤みす江様 100歳
2月	節分		S9.2.2 久保泰子様 90歳 S16.2.9 塚柴子様 83歳
3月	ひな祭り お彼岸おはぎ作り ワックス掛け	大泊朝市	S19.3.29 松本慧子様 80歳 T15.3.23 遠藤八重様 97歳

令和5年度

施設内研修予定表

部署 やくしの里

開催日	研修内容	場所	参加職員
5・8・11・2月	身体拘束	やくしの里リビング	職員全員
4・12月	感染対策について	やくしの里リビング	職員全員
10月	認知症	やくしの里リビング	職員全員

令和5年度

施設外研修参加予定表

部署 やくしの里

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	認知症に関する研修			橋本 光治
〃	感染対策			福井 早苗
〃	介護支援専門員 専門研修	石川県		石垣 初江

小規模多機能型居宅介護施設たかしの里

小規模多機能型居宅介護

介護予防小規模多機能型居宅介護

令和5年度テーマ：『利用者の能力を引出し、支える』

部署：たかしなの里

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>1. 筋力を落とさない</p> <p>2. 認知症、障害のある方に通常の生活が出来よう支援する</p> <p>3. 利用者支援のための職員の資質向上と連携を強化する</p> <p>4. 感染症や災害への対応力強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筋力の基本能力を見える化し、状態を維持、向上できるよう取り組む ・ 嚥下機能のリハビリの強化 ・ 地域の支援や資源を活用しその人らしく安心安全で穏やかに過ごしていただけるよう支援する ・ 利用者の日々の状態や変化を把握し職員同士で連携できるようにする ・ 職員個々の心がまえを統一化し利用者が安全安心して過ごしていただけるようにする ・ 災害や感染症が発生した時、慌てることなく適切な対応が出来るよう計画的な訓練や研修を実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行速度測定、握力測定、筋力測定を年2回実施する ・ 毎日のレクリエーションの提供、集団での歩行訓練、100歳体操を継続的に行う ・ 上記測定や訓練状況を参照しながらバーサルインデックスの評価を行い、Lifeヘータの入力・提出をする ・ 食事前の嚥下体操と会話や歌など話す機会を増やす ・ 積極的に地域の会合や行事に出席し地域と連携が取れるよう取り組む ・ 利用者ひとり一人の趣味や性格を尊重し、ユマニチュードによるケアを実践する。またそのため必要な研修を定期的開催する。 ・ 基本理念のさらなる浸透をさせるため研修を定期的に行う。 ・ 記録の方法を見直し、段階的に手書きから徐々に記録システムへの入力にシフトすることによりデータ化する。 ・ 本人の思いを会話の中から聞き取り介護計画に反映させる。 ・ 外部研修への参加を計画し、研修で得た知識のエッセンスを職員で共有する ・ 医療介護の専門知識の勉強会を計画・開催する ・ BCPに基づく感染症対策としての勉強会の実施と必要備品の準備・リスト化を行う ・ 年2回の火災避難訓練の実施と地域との連携 ・ 周辺地域での水害発生を想定した机上シミュレーション訓練を実施する 	

令和5年度年間行事等事業計画書

部署名：たかしなの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ		
5月	青柏祭見学 新緑ドライブ 避難訓練（夜間）		朝日小学校運動会見学
6月	露取り 菖蒲湯		高階地区体育レクリエーション大会見学
7月	七夕まつり シェイクアウト 安浄寺お参り		
8月	たかしなの里交流会		高階まつり見学
9月	足湯ドライブ おはぎ作り		
10月	避難訓練（日中）	池崎町秋の大祭	徳田まつり見学
11月	紅葉ドライブ		
12月	ゆず湯 クリスマス会 餅つき		
1月	正月遊び 法話（安浄寺住職）		
2月	節分		
3月	和倉温泉お祭り会館		

令和5年度 施設内研修予定表

部署 たかしなの里

開催日	研修内容	場 所	参加職員
4月・10月	基本理念と権利擁護	たかしなの里事務室	全職員
5月	接遇とマナー	〃	全職員
6月・12月	認知症の方への対応・薬の基礎知識	〃	全職員
7月・1月	介護技術	〃	全職員
8月	身体拘束廃止	〃	全職員
9月	自然災害対応	〃	全職員
11月・2月	感染症対策	〃	全職員

令和5年度 施設外研修参加予定表

部署 たかしなの里

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	感染予防について			未定
〃	身体拘束廃止に向けて			〃
〃	養介護高齢者施設虐待防止推進員研修	石川県		〃
〃	認知症について			〃
〃	介護職員基礎研修	石川県		〃

